

令和3（2021）年度 【日本史B】

68 新潟県立高田南城高等学校（通信制）

単位数	必履修・選択	レポート数	出席義務時数	テスト回数
4	選択必履修	12	4	2
教科書		学習書・他教材		
高校日本史 改訂版（山川出版社）		新聞		
学習目標				
1. 日本の歴史の展開を、世界史的・地理的な視点に立って考察し、歴史的な認識を深めること。 2. 日常的に新聞に目を通すなどして、歴史・社会的な事象に対して、自分の意見が持てるようにすること。				
学習計画				
学習項目		学習内容		試験範囲
I部 原始・古代	1 古代社会の形成	・日本文化のはじまり ・農耕の開始 ・ヤマト政権と古墳		前期試験
	2 律令国家の形成	・律令国家の成立・繁栄・変質		
	3 貴族政治の展開	・摂関政治 ・国風文化 ・荘園の発達と武士の台頭		
II部 中世	4 武家社会の形成	・院政と平氏の台頭 ・鎌倉幕府の成立と発展 ・蒙古襲来と幕府の衰退 ・鎌倉文化		
	5 武家社会の成長	・室町幕府の成立 ・下剋上の社会 ・室町文化 ・戦国の動乱		
III部 近世(近代)	6 幕藩体制の成立	・ヨーロッパ人の来航 ・織豊政権 ・江戸幕府の成立		
IV部 近代・現代	7 幕藩体制の展開・動揺	・幕政の安定 ・経済の発展 ・元禄文化		後期試験
	8 開国と幕府の滅亡・明治維新	・幕政の改革と宝暦・天明期の文化 ・幕府の衰退と近代への道 ・化政文化		
	9 近代国家の成立	・開国と幕府の滅亡 ・明治維新 ・立憲国家の成立 ・大陸政策の展開 ・近代産業の発展 ・近代の文化		
	10 第一次世界大戦と日本 政党政治と大衆文化	・第一次世界大戦と日本 ・政党政治と大衆文化		
	11 恐慌の時代・軍部の台頭	・恐怖の時代 ・軍部の台頭 ・第二次世界大戦		
	12 現代の世界と日本	・占領下の改革と主権の回復 ・55年体制と高度経済成長 ・現代の情勢		

評価規準と評価方法

評価は、次の4観点から行います。

①関心・意欲・態度	②思考・判断・表現	③資料活用の技能	④知識・理解
我が国の歴史の展開に対する関心と課題意識を高め、意義的に追究する。スクーリングとレポートの取り組みに対して積極的である。	現代社会が先人たちの人生の上にあることを国際環境と関連付けて多面的・多角的に考察し、我が国の文化と伝統についての認識を深め、国際社会の変換を踏まえ公正に判断して、さらにその経過や課題を公正に判断して、適切に表現している。	資料や史料、地図などを収集、有用な情報を適切に選択し、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	我が国の歴史の展開についての基本的事柄を、国際環境と関連させ、総合的に理解しその知識を身に付けている
スクーリング出席回数・態度 ・レポートの期限厳守	レポート・新聞課題	定期考査・新聞課題	定期考査

スクーリングの進め方、提出物

- ・スクーリングの際は、教科書を用意して参加してください。
- ・レポートの提出期限が遅れたものはレポート点が大幅に減点されます。
- ・第10回には新聞のコラムを読んで、内容をまとめる課題があります。

担当者からのメッセージ

- ・新聞課題がありますので、日常的に新聞を読むようにしておくと課題作成に余裕が生まれます。なお、新聞は学習室に用意してありますので、大いに活用してください。
- ・スクーリングはチャイムと同時に始まりますので、教材を用意して着席しててください。せっかくの学習の機会を無駄にしないために、また周囲への迷惑にもなりますので遅れないようにしてください。